

3年

国語

つたえる文章しょうを書く

3年

組

名前



き き

〔れい〕
(林)

⑦ (多) ゆう ゆう	① (始) おん だい
⑧ (間) もん ひ	② (習) はね しろ
⑨ (相) き め	③ (理) おつ さと
⑩ (星) ひ せい	④ (時) ひ てう
⑪ (細) いと た	⑤ (切) かな かな
⑫ (絵) いと かい	⑥ (横) き き

※⑥は「機」机も正しい。

やま
いし
できた。

⑥は
「林」と
ちがう
漢字だよ。



③ ひらがなを漢字に直し、一つの漢字にして、()に書きましよう。

知って・読んだり・メモ・れい・様子・えらぶ
とくに・段落・くふう・はたらいて・知りたい

④ 読む人が分かりやすいように(れい)を
あげたり、(段落)を分けたりして書く。

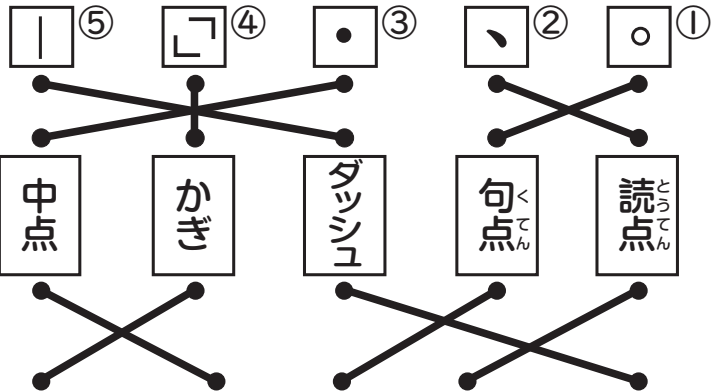
③ 読む人が(知って)いることと
知らないこと、(知りたい)だろう
ということを考える。

② 調べて分かったことを(メモ)にとり、
その中から自分が(とくに)
つたえたいことを(えらぶ)。

① その仕事でどんな(くふう)をして
いるのか、本で(読んだり)、じつさいに
(様子)を見たり、(はたらいて)いる
人や家の人に聞いたりする。



① 仕事のくふうについて調べて、つたえる文章を
書くことについて、①～④の()に当てはまる
言葉を からえらんで書きましよう。



② ①～⑤の符号とその名前、使う場面を
それぞれ線でつなぎましよう。

① 会話、② 書名・題名、
③ 思ったこと、④ 他の文と
分けたいときに使う。

言葉をならべるときに
使う。

文の終わりにつける。

文の中の意味の切れ目に
使う。

① せつ明をおきなうとき、
② 言い切りをせず、と中で
止めるときに使う。